やるばい！古賀のみどりサミット

VOL.2
実施報告書

古賀地区では、まちの未来を描いた「まちづくり計画」をつくるために、計画に必要なアイデアを集める場として、「やるばい！古賀のみどりサミット」の2回目を10月30日に開催しました！

地域の皆さんと一緒に古賀地区のことについて語り合い、まちづくり計画が完成したら、計画を実現させるため、古賀地区まちづくり協議会を設立して、「地域のまちづくり」を住民の皆さんと協力して進めることを目指しています。

たくさんの方にお集まりいただき、開催することができましたので、当日の様子をお知らせします。

■日時
2021.10.30(土)
9時半～12時
■場所
古賀地区市民センター
■参加者数
79名

1. 開会

はじめに、設立準備委員会 濵田委員長から、

予定していたみどりサミットが、コロナ禍で２回延期となり、約1年経過したのちに第2回みどりサミットを開催することができたことや、古賀のまちづくりにむけて、話し合いを進めていくことについての挨拶がありました

2. 前回の話し合いで出た意見の確認

昨年11月28日に開催した第1回のみどりサミットでは、「古賀地区に暮らしていて、感じることは？」というテーマで話し合いました。そこで出た多数の意見を準備委員会で整理して、７つの分野に分けた意見集をみんなで確認しました。

3. 興味のある分野に分かれて話し合い

受付時に、自分が話したい、興味のある分野のグループを選んでもらい、話し合いを行いました。

- つながり・地域活性
- 歴史・伝統
- 子ども・子育て
- 生活環境
- 自然環境
- 高齢者福祉
- 安全安心

（右上のページへ）

4. グループでの話し合い

７つの分野ごとに、「目指す姿」や「現状・問題点」、「私たちにできること」について話し合い、グループごとに話し合った内容を模造紙にまとめて発表しました。

分野	目指す姿(目標)（一部抜粋）	現状・課題・問題点（一部抜粋）	私たちにできること（一部抜粋）
つながり 地域活性	世代をこえたつながり 情報が届いて!!人と文化がつながって!!地産地消で活性化!! 自然豊かな花と植木があふれる町	・高齢者に限らず、いろいろな世代が集まることのできる屋内施設がほしい ・情報が届かない（特に若者に…） ・買い物に行くのに交通の便が悪い	・いろいろな世代がいっしょに集まる機会をつくる ・人が沢山集まるところに情報発信の場所を置く ・散歩がしやすいように遊歩道マップをつくる ・遊耕地の貸し出し、活用 ・季節ごとにふれあうイベントをつくる
歴史 伝統	多彩な伝統文化を活かす！	・植木の里であるが自由に見れない ・史跡が認知されていない ・若い人たちとの歴史、文化の共有 ・伝統を残していくための手段	・名所の案内板を作る、歴史の資料化を図る ・肥前古賀駅の活用（名所案内等）やまちあるき ・食文化を伝えるための料理講習会 ・古賀小設立150周年でのイベントを開催し地域のことを知る勉強会
子ども 子育て	戻りたくなるまち 移り住みたくなるまち 交流の場がたくさんあるまち!!	・雨の日に遊べる場所がない ・子どもが穏やかだが競争心がない ・公園に関する情報が共有されていない	・古賀の魅力をＨＰなどでＰＲして人を呼び込む ・公園の使用についてルールを作る ・川の整備（川の掃除などみんなでする） ・談話室の整備（12月開設予定）に協力する
生活 環境	若い人も住みたくなるまちづくり 長く住み続けられる故郷（ふるさと）づくり	・歩いて行けるスーパーがない。 ・交通の利便性 ・買い物や通院支援をしてほしい。 ・車がないと不便。返納後は困る	・移動スーパー ・運動場をポールで仕切り、遊ぶ場所を確保する ・循環バスの導入を図る ・土地利用の制限の緩和を要望
自然 環境	グリーンツーリズムのまちづくり（山・川・道をキレイに！） 古賀地区の自然や歴史を大事にして世界に発信していきたい	・維持管理（草刈り等）の後継者がいない ・せっかくの古賀地区の魅力がアピールできていない。魅力が点在し、連動していない。	・あじさいまつりやホタルまつりで人集め ・古賀にまつわるストーリーやいきさつを地域で大事にして昔話風に伝える ・お花を少しずつ植えていく。耕作放棄地を活用 ・長崎だけではなく佐賀とも連携する
高齢者 福祉	高齢になっても自分たちで課題を解決できるしくみがある。 施設に入らずに自宅で元気に暮らし続けられる高齢者にやさしいまちづくり	・買い物（交通の便。重たいものが持てない。スマホの操作不慣れ） ・集まりやレクレーションが少ない ・移動販売の検討。	・高齢者等の買い物対策。社会福祉法人との連携。利用する人も負担。 ・駅を上手く活用し、コミュニティバスを導入する ・公民館、公園を活用し、集まりの場を増やす
安全 安心	事件事故がなく最終的に住民の皆が安全安心に暮らせるまち みんなが安心して歩けるまち	・災害に対するひとりひとりの意識が低い ・消防団の活動が知られていない ・道が狭い暗い、木がかかっている ・地域の連携が難しい	・災害に対するひとりの意識を高める ・地域の行事等で消防団の活動をＰＲする ・地域のみんなで連携して、地域の状況を把握する ・目印になるように通りに名前をつける ・子どもたちへ挨拶や声掛けをする

5. ふりかえり

最後に「今回参加してどうだった？」の感想を、紙に書き、発表しました。

《主な意見》

- たくさんの良い話がきくことができました。それを実現できるようにみんなが協力することが大事だと思います。
- 自分が気付いていなかった地域の課題や地域の人々の思いを知ることができてよかった。
- 「自分に何ができるか」をしっかり考えることができる機会だった。
- 大人も子どもも協働して話し合えるのが面白かった。

古賀地区市民センターのホームページでも当日の様子が閲覧できます♪↓

▶発行元：古賀地区まちづくり協議会設立準備委員会　▶発行日：令和3年11月
▶事務局：https://www.kogachiku-shimin.com/（古賀地区市民センター）